

地域銀行の平成 24 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や債券売却益の減少等により、前期に比べ 4.5% の減少。
- 当期純利益は、株式等関係損益が悪化したものの、与信関係費用の減少により、前期に比べ 11.4% の増加。

(単位：億円)

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期	前期比
業務粗利益	49,858	50,002	49,107	894
資金利益	43,517	43,184	42,396	787
役務取引等利益	4,527	4,585	4,594	8
債券等関係損益	1,057	1,552	1,363	188
うち、債券等償却()	190	217	136	81
経費 (▲)	31,775	32,003	31,912	91
実質業務純益	18,082	17,998	17,195	802
与信関係費用 (▲)	7,206	6,145	2,910	3,234
株式等関係損益	338	1,070	1,230	159
うち、株式等償却 (▲)	759	929	797	132
当期純利益	6,437	6,527	7,272	744

(参考)

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
貸出金 (末残)	204.8 兆円	207.9 兆円	213.1 兆円

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ僅かに増加、不良債権比率は横ばい。

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
不良債権額	6.6 兆円	6.7 兆円	6.8 兆円
不良債権比率	3.2 %	3.2 %	3.2 %

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ上昇。

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
自己資本比率	11.3 %	11.6 %	11.9 %

(注1) 22年3月期の集計対象は107行（地方銀行64行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行）
23年3月期の集計対象は106行（地方銀行63行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行）
24年3月期の集計対象は107行（地方銀行64行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行）

(注2) 計数は単体ベース。ただし、不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。

(注3) 与信関係費用及び債券等償却、株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(注4) 22年3月期の計数については、業績修正等を行った銀行があるため、過去の当庁公表数値と異なる。